

2021年7月16日第74回運輸政策セミナー  
物流とDX～デジタル技術で労働力不足を乗り越えられるか～  
小瀬理事長補佐 閉会挨拶

運輸総合研究所理事長補佐の小瀬です。それでは、お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、貴重なお話をしていただきました東京大学の西成先生、オプティマインド社の松下様、CBcloud社の松本様、アスクール社の宮澤様、また、ご参加頂きました大勢の視聴者の皆様、そして、当研究所の活動をご支援頂いている日本財団に御礼を申し上げます。

本日のセミナーでは、デジタル技術の活用によりこれまでの物流そのもののあり方の変革を目指して最前線で取組を進めておられる講師の皆様から、それぞれの立場で、限られた時間ではありましたが、詳細に、かつわかりやすくご講演いただきました。

また、パネルディスカッションにおいては、山内所長をコーディネーターとして、DXやデジタル化の鍵となるポイントや、視聴者からの疑問点など、多岐にわたり、丁寧に、率直にご見解を述べていただくとともに、デジタル化を妨げる実情についても具体的に言及にいただくなど、活発に議論頂きました。

視聴者の皆様には物流DXに対するご理解をさらに深めていただいたのではないかと、考えています。

今回のセミナー開催に際し事務方として感じたことを申し上げると、関係の取組を進められている講師の方々にこのセミナーへの参加をお願いしたのは2か月前でしたが、この2か月の間に、その取組がさらに先のフェーズに進展しているのを報道で知り、またお話を伺いして、デジタル化のスピード、取組の展開の速さの一端を垣間見た気がいたしました。

本日のセミナーでは、課題もあるとお伺いしましたが、デジタル化のスピード感からすると、1年後には、さらに大きくDXやデジタル化が進んでいるにちがいないと、期待しているところです。

いずれにしましても、講師の皆さまから、多くのご示唆をいただきましたことに、改めて御礼を申し上げます。

本日は、最後までご視聴いただき、誠に有難うございました。